



手前左から北村さん、楠田さん、福岡さん。奥左から川崎さん、福永さん、坂澤さん



古閑区長の藤山さん



昔から地区の人たちに大切にされてきた地蔵堂

人の熟女たち。毎月、1日・15日・24日にお堂の掃除を行うそうです。「毎月24日には、ここで夕方までずっとみんなでおしゃべりばすつとよ」と話すのはリーダー格の北村ムツエさん(90)で、「お弁当ば持ち寄って楽しかよ」とは坂澤トミ子さん(85)。この恒例の女子会には、福富地区の友だちもやって来るそうです。「はい、どうぞ」とおいしいお茶を入れてくれた川崎久子さん(86)や、「冬にはお堂の中にコタツば立てるとよ」と言う福岡常子さん(87)も、ここに来てみんなに会うのが何よりの楽しみだそうです。平均年齢85歳。若手が福永桂子さん(81)と楠田清美さん(78)で、福永

さんが、「地藏さんな子どもが大好きだけん、せからしかとには慣れとんなはるもん」と言うと同大爆笑。皆さんは今月の24日にもここに集まるそうです。近所の人、知り合いの人など参加してはいかががでしょうか。

優しい木の玩具

古閑にある工業団地内にある「木育工房」では、子どもたちの知育玩具や室内用のうんてい・滑り台などを手作りしています。

「ファーストトイ、お子さんの最初のおもちゃになったらいいな、という思いで作っています」と話すの

は、代表の森永博文さん(58)です。熊本産のヒノキを使い、肌触りもなめらかで安心・安全な遊具は、全国から注文が寄せられ現在3カ月待ちの状態だそうです。中には、子どもの成長に合わせて、以前オーダーしたうんていにバスケットボールのゴールを作り付けてほしいという注文もあるそうです。こうして、お客さんと長いおつきあいが続いているのは、作り手の優しい思いが伝わる丁寧な物作りの結晶に他なりません。



「心を込めて作ります」と森永社長



散歩の終わりに

日々を丁寧に暮らす人たちに会いました。かわいらしい園児たちや、古閑地区の地蔵堂で女子会をする皆さんの、どんなからもすてきな笑顔がこぼれて心が満たされました。気軽に声を掛け合える、わが町の優しさと温もりに触れた一日は、晩酌の一杯がいつそうおいしく感じます。今日の日の出会いに感謝。



上/明るい笑顔でカメラの前に立ってくれた「木育工房」のみなさん

右/室内で楽しむ木製のうんてい。サイズなどもオーダーできます

